


2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」


事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【北九州市】

学校名【北九州市立 塔野小 学校】

1 実践テーマ	I・II・III・IV・V（複数選択可）
2 実施対象者 （学年・人数）	塔野小学校 第4学年 2クラス 56名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名（総合的な学習の時間）</p> <p>② 行事名（ ）</p> <p>③ その他（ ）</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名（ ）</p> <p>② その他（ ）</p>
4 目標 （ねらい）	ゴールボールに取り組むアスリート等の生き方から、夢をもつこと、あきらめないこと、努力することの大切さを実感する。
5 取組内容	<p>○事前学習として、総合的な学習の時間「やさしさのあるまちづくり」の学習を通して、障害のある人の暮らしや自分たちにできることについて考えあう学習を行い、パラリンピックについての興味・関心を高めた。</p> <p>① パラリンピック競技「ゴールボール」の簡単な説明を行い、学習意欲をもたせるようにした。</p> <p>② パラリンピックゴールボールのメダリスト小宮選手の話やビデオ視聴により「ゴールボール」を知り、不自由なこと、努力すること、仲間と協力することの大切さを知った。また、目隠しをして、小宮選手の指導のもと、「ゴールボール」のルールや目が不自由な人への対応の仕方等を学んだ。</p>  <p>③ 事後の学習として、シーズアスリートより「ゴールボール」</p>

	<p>用のボールを借用し、4年生全員が「ゴールボール」を体験し、パラスポーツの楽しさを味わった。</p> <p>○「ゴールボール」体験を通して、気づいたことを絵や文でまとめ、学習を振り返った。競技としてのゴールボールの魅力に気づくとともに、「障害をもつ人に優しくしたい」などの記述が見られた。</p>	
<p>6 主な成果</p>	<p>子ども達にパラリンピックへの理解を深めるとともに、障害があっても、夢をもち、努力することの大切さを学ぶことができた。</p> <p>4年生は昨年「ゴールボール」を経験していたが、今回は総合的な学習の時間「やさしさのあるまちづくり」で、視覚障害者体験や盲導犬と暮らす人の話を聞く学習をしてきており、小宮選手の言葉に、より強い共感をもつことができた。小宮選手の「何でも一度でうまくいくことはない。」との言葉に、子ども達は日頃の自分たちの言動を振り返る機会を得、自分もがんばろうという記述が見られた。</p> <p>また、障害のある人もない人も同じように生活するために、思いやりの心が大切であることを実感することができた。</p> <p>普段の生活でも友達や周りの人に対して思いやりの心をもって、生活する態度が見られるようになった。</p>	
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間「やさしさのあるまちづくり」と関連させて実践した。また、福岡県に住んでいるパラリストを招聘することで、自分の住んでいる地域へのシビックプライドを高めることができた。 ・フロアーにテーブルを置き、より身近な位置でお話をして頂いた。 	
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ゴールボール」体験をする時間の確保が十分できなかったため、延長して器具を貸していただき、後日全員にゴールボールにふれさせることができた。 ・対象学年を「総合的な学習の時間」の関係上、中学年で行ったができれば、全学年で体験できるとよかった。 	
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学年や内容によっては、検討をして実施したい。 	